

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 6 年度第 4 回相模原市子ども・子育て会議		
事務局 (担当課)		こども・若者未来局 こども・若者政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 1 5 (直通)		
開催日時		令和 7 年 3 月 2 6 日 (水) 午後 6 時から午後 8 時		
開催場所		職員研修所大研修室		
出席者	委 員	1 2 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 9 人 (こども・若者未来局長ほか 1 8 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 第 2 次相模原市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について (2) 特定教育・保育施設等の利用定員の設定について 3 その他 1. 相模原市子ども・若者応援プランの策定について 2. 社会的養護の充実に向けた考え方について 3. 相模原市子育て応援条例の施行について 4. 令和 7 年度の子ども・若者未来局の組織改正について 4 閉 会		

議 事 の 要 旨

1 開 会

2 議題

(1) 第2次相模原市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

第2次相模原市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について事務局から説明した。委員からの意見、質疑応答は次のとおり。

(石井委員) 資料1－3 子ども・子育て支援事業計画（地域子ども・子育て支援事業）の実施状況、9ページのファミリー・サポート・センター事業について、援助会員の登録者が伸び悩んでいることへの改善として、令和6年度から、原則援助会員宅の預かりとしていたところを、地域子育て支援拠点でも預かりを実施できるようにするとのことだったが、そうすると、援助会員は誰が担うことになるのか。

(事務局) 援助会員が子育て広場の拠点をを使って実施する場合もあれば、広場のスタッフが施設を使って援助会員を担う場合もある。

(園田副会長) 補足になるが、今回は、令和5年度の数字に対する評価をすることになっており、令和6年度の数字については、来年度、評価することになる。

(片山会長) 今、令和6年度が終わろうとしている段階で、皆さんがご覧になっているので、その把握の仕方に注意が必要です。本来、もう少し早い時期に、会議の場に評価の結果が提示されて、次年度、こういった取り組みをしていくのかということが共有されているものだったというふうにご理解いただいて、今日は令和5年度の取組の評価をお願いできればと思う。

(押田委員) 単純な確認であるが、昨年度もBとかCとかいう評価の資料を見た記憶があるが、それは令和5年度の評価の話ですか。

(事務局) 昨年10月に、令和4年の評価についてご報告させていただいています。次期プランの策定業務の方を優先した関係で、今年度の点検評価の報告が年度末になってしまったので混乱してしまう部分があるかもしれない。

(安西委員) 資料1－3の14ページ。民間児童クラブ代表者との情報交換会が本日も開催された。代表者が集まると、補助金の話などに終始することが多かったが、今後はまたこの代表者の集まりとは別に、相模原市学童保育連絡協議会として、地域、市の担当課と定期的に意見交換をしていこうという話のできたので非常に有意義に感じた。また、下校時間などに関する学校との実務的な連携を図りたい

という話などもさせていただき、その辺の問題意識も共有、認識していただいているのが分かり、この２年間やれてよかったと思っている。今後も子供たちのために公立児童クラブも民間児童クラブも、いい方向に持っていければと思っている。

(片山会長) この資料１－３の「今後の取組の課題・方向性等」という部分も以前は無かった項目だった。協議を深めていくためにも資料も工夫されて、ここまで至ってきている。

(朝比奈委員) 数字が出るたびに同じ発言をしているが、資料１－５について、「保育を必要とする児童が、保育を受けることができる割合」が９９．９％となっているが、資料１－２の右下を見れば、保留児童が６４５人いるという事実がある。私が気になったのは、この「保留児童の内訳」で「自宅で求職活動を行っている等保育の必要性がない」という書き方をしているが、これは求職活動を行って、できれば預けられたら働きたいって方という切実な方もここには含まれているのではないかと私は思う。

或いはその下に、「育児休業中で復職意向なし」とある。各市の子育て支援センターに保育を申し込むときに、もっと緊急性のある方がいたら譲ってもいいぐらいのニュアンスでのアンケートになっているが、あれに丸をしてしまうと、実は、点数がマイナスになって、ほぼ保育園に入れない。だから、育休を延長したいから、そのために丸をつけている方もいらっしゃるでしょうけれども、本当は復帰できるんだったら働きたい方も、そこには含まれている。市としてこの６４５人の方々に対して今後どういう施策を打っていくのかは、今後も議論して欲しい。

(片山会長) 待機保留児童数についてのここの記述に関しては、相模原が独自に決めているものではなくて、何かをもとに、この表記を使っていっているのかなと思いました。

(事務局) はい、待機児童数の算出にあたっては、国が定める算定方法に基づいており、この表記もそれに準じております。しかし、委員ご指摘のとおり、表記と実態に乖離がある可能性は認識しております。例えば「求職活動中」の方でも、年度途中で就職が決まり保育の必要性が生じるケースは十分に考えられます。また、育休延長の希望についても、会社の制度が整っているのに他に希望の方がいれば譲ってもいいですよ、という内容となっているが、本意ではない方が含まれる可能性もございます。今後は、子育て支援センターの相談員とも連携を密にし、個々の状況をより丁寧に把握しながら、真の保育ニーズに応えられるよう努めてまいります。

(園田委員) 令和５年度の目標達成度を見ると、ワースト３が基本目標７と基本目標５、基本目標８です。「子育てをしていることが、社会に温かく見守られていると

感じる市民の割合」が達成度として 50.3%、「子育てをしていることに満足している市民の割合」が 73.8%、「子育てサポーターの活動者数」が 68%と、これらは同じグループに属するような項目。特に前の 2 つは市民へのアンケート調査に基づく意識の現れであり、深刻な結果です。この結果について、市はどのような分析をされていますか。

(事務局) ご指摘ありがとうございます。正直なところ、ここまで大きく数値が下がった明確な要因は特定できておりません。コロナ禍からの社会経済状況の変化や、それに伴う精神的な負担など、複合的な要因が絡み合っているものと推察されます。

(園田委員) 複合的な要因であることは承知の上で、これは「子育てするなら相模原」とは言えなくなってしまう極めて重い数字です。当事者の意識がこれだけ低いという結果を厳粛に受け止め、詳細な分析を行い、次の施策に活かさなければ、子育て応援条例も絵にかいた餅になってしまう。このまま看過できないと考えます。

(石井委員) 私も「社会に温かく見守られている」という実感の低さに驚きました。地域で子育て中のお母さんたちからは、孤立感や気軽な相談相手がいないといった声をよく聞きます。この数字は、そうした実感の現れではないでしょうか。

また、先ほどのファミサポについてですが、拠点で預かりができるようになるのは良いことですが、それと同時に、援助会員を増やし、誰もが利用しやすくなるような制度自体の見直しも必要だと感じます。

(事務局) アンケートの設問について補足しますと、「相模原市の地域社会の中で」という限定的な聞き方ではなく、「今の社会の中で」という広い問い方をしております。回答者がどの範囲を想定して答えたかによる誤差も考えられます。今後の調査では、設問の表現をより具体的にするなど、工夫を検討してまいります。

(片山会長) 皆様からの貴重なご意見、ありがとうございました。ご指摘いただいた点は、次期計画や今後の評価報告に反映させていただくよう、事務局にお願いいたします。

(2) 特定教育・保育施設等の利用定員の設定について

事務局より資料に基づき、令和 7 年 4 月 1 日からの利用定員変更（認定こども園への移行、保育所の新設等）について説明があり、全体で 88 名の定員増となることが報告された。

(三浦委員) 近年、幼稚園の運営は非常に厳しい状況にある。市の計画の中で、幼稚園の位置づけや今後の支援について、どのように考えているか。

(事務局) 今回の移行により、市全体の幼稚園機能に関わる定員数が大きく変わるわ

けではない。幼稚園への支援制度もあるので、今後も皆様と情報交換を重ねながら、必要な支援を検討してまいりたいと考えている。

(委員)相模大野駅前に新設される保育所について質問です。待機児童対策とのことだが、待機児童の多くは0～2歳児(3号認定)かと思う。しかし、計画では3～5歳児(2号認定)の定員も多く設定されている。また、既存園で定員割れも聞かれる中、ビル内に新たな園を新設する必要性について、もう少し詳しくご説明いただきたい。

(事務局)新設は、待機児童が集中している相模大野地区の対策として決定した。定員設定については、特定の年齢に偏ることなく、0歳から5歳まで継続して安定した保育を提供できるよう、年齢構成を考慮した結果である。

(園田副会長)保育の需給バランスを議論することは、この会議の重要な役割。少子化が進む中、新設園の設置は慎重に行うべき。大規模マンションの建設計画など、地域の動向をデータに基づいてしっかり分析し、市民が納得できる説明のもとで進めていただきたいと、意見として申し上げる。

(片山会長)この議題は毎回「意見を求める」形で提示されるが、新設に至るまでの詳細な経緯や、以前この会議で出された防災面への懸念がどうなったのかといった点が、十分に共有されていると言い難い状況である。子どもの権利が守られる保育環境の実現という観点から、今後より丁寧なプロセスを踏んでいただくことを望む。

3 その他

1. 相模原市子ども・若者応援プランの策定について

パブリックコメントの結果、および並行して実施した小中高生等への意見聴取会の結果について報告があった。意見聴取会に参加した委員からは、「子どもたちが真剣に考えており、非常に有意義だった」「聞いた意見を施策に反映し、フィードバックすることが重要」「今後も継続してほしい」といった感想が述べられた。

2. 社会的養護の充実に向けた考え方について

令和7年度から11年度を対象期間とする「社会的養護の充実に向けた考え方」が策定されたことについて報告があった。委員からは、児童福祉法改正に伴う「独立した第三者による意見表明等支援事業」の具体的な体制構築について、第三者性を担保する観点から慎重に進めるべきとの意見が出された。

3. 相模原市子育て応援条例の施行について

条例が3月議会で可決・成立したこと、また、条例の理念を具現化する令和7年度の主な事業(1か月児健診費用の助成、小学校1年生の給食費無償化、ロ

ゴマーク「子育てするなら相模原」の活用等) について報告があった。

4. 令和7年度の子ども・若者未来局の組織改正について

「子どもの居場所づくり担当部長」の新設や「放課後児童対策課」の新設など、子ども・若者支援体制の強化を目的とした組織改正について報告があった。

4 閉 会

以 上

相模原市子ども・子育て会議委員名簿

(五十音順)

氏 名	推 薦 団 体 等	出 欠
あさひな たろう 朝 比 奈 太 郎	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	出 席
あんざい しゅんいち 安 西 俊 一	相模原市学童保育連絡協議会	出 席
いしい やすこ 石 井 康 子	みらい子育てネットさがみはら連絡協議会	出 席
おしだ ゆうすけ 押 田 裕 輔	公募市民	出 席
かたやま ともこ ◎ 片 山 知 子	和泉短期大学児童福祉学科 特命教授	出 席
かわい たけひこ 川 井 赳 彦	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出 席
ごとう りょう 後 藤 亮	公募市民	欠 席
ささみね ゆか 笹 嶺 由 香	相模原市立小学校長会	欠 席
そのだ いわお ○ 園 田 巖	東京都市大学人間科学部准教授	出 席
たがわ つぐよ 田 川 継 世	一般社団法人 相模原市ひとり親家庭福祉協議会	出 席
のぐち かずよ 野 口 和 代	特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会	出 席
ば ば まゆみ 馬 場 眞由美	相模原市民生委員児童委員協議会	出 席
ふ せ あきよし 布 施 昭 愛	相模原商工会議所	出 席
ますだ たかのり 増 田 貴 範	日本労働組合総連合会神奈川県連合会 相模原地域連合	出 席
みうら ともりの 三 浦 友 則	相模原保育室連絡協議会	出 席

◎ 会長 ○ 副会長